



Mount Fuji Research Institute  
Yamanashi Prefectural Government

March.2015

トピックス

公開講座「富士山自然ガイド・スキルアップセミナー」

環境情報センター便り

研究紹介

菊池 佐智子 (環境共生研究部)

●「おもてなし やまなし」 観光利用調査から見てきたこと

平成27年度 イベント情報

# News Letter

## opics

### トピックス

### 富士山科学研究所公開講座

## 「富士山自然ガイド・スキルアップセミナー」

山梨県富士山科学研究所では、自然観察ガイドなど現場で活動されている方々を対象に、今年度も富士山の自然に関する解説に役立つ科学的基礎知識を提供することを目的とした「富士山自然ガイド・スキルアップセミナー」を開催しました。

自然の「魅力」や「不思議」を自然観察などに参加する人が理解しやすいように解説するためには、科学に裏付けされた正しい知識・理解が欠かせません。講師としてお招

きしたのは、火山学、植物生態学、動物生態学などの各分野でいずれも現在第一線で研究を続けられている方々ばかりです。毎回、多くの方々が参加して下さり(全11回でのべ600人以上)、現場での事例などを含めた活発な質疑や討論が行われました。

各回ともセミナー終了後にアンケートをとりましたが、いずれの回も受講者の満足度は高く(最低でも10点満点中7.3点)、「自然観察などの解説時にセミナーで出た内容

を話そうと思うか」という問いには、かなり高い割合で「話す」という回答が得られました(86%)。これらのことから、本セミナーの目的は概ね達成できたと捉えています。

来年度もスキルアップセミナーを開催する予定であります。さらに充実したセミナーを目指し、スタッフ一同取り組んで参ります。多くの皆様の参加をお待ちしております。



## 環境情報センター便り

..... 環境情報センターでバードウォッチングをしてみませんか? .....

山梨県富士山科学研究所は富士山麓の森の中にあるため、様々な野鳥を観察することができます。建物の中からゆっくり野鳥観察を行えるのが、環境情報センターのバードウォッチングコーナーです。敷地内に作られた水場が窓越しに見えるようになっていて、野鳥が水を飲んだり浴びたりする様子を見ることができます。3台の双眼鏡と、鳥類の図鑑などが置いてあり、観察用の道具を持ってこなくても気軽にバードウォッチングを楽しめます。

富士山は水場が少ないので、様々な野鳥が研究所の水場にやってきます。一年をとおして姿を見かけるのはカラ類です。ヤマガラ、ヒガラ、シジウカラなどが常連になっています。ヒヨドリやカケス、メジロもよくやってきます。夏には、キセキレイやキビタキ、オオルリなどの姿も見ることができます。冬はやってくる鳥の数が少なくなりますが、ツグミやシロハラ、アトリなどが見られることもあります。

バードウォッチングコーナーのおすすめ観察ポイントは、窓から見て左側の奥にある、浅瀬の部分です。正面を見て鳥の姿が見えなかったら、ぜひ左側奥の水場をチェックしてみてください。



# 「おもてなし やまなし」 観光利用調査から見えてきたこと



菊池 佐智子 (環境共生研究部)

## おもてなし やまなし

みなさん、「おもてなし やまなし」を知っていますか？このフレーズは、山梨県が日本一のおもてなし県を実現するための合い言葉です。私たちは、豊かな自然や数多くの特産物、伝統的な祭りや多彩な行事などに囲まれて暮らしていますが、十分にその魅力や価値に気づけているでしょうか？あまりにも身近なことで、あたりまえのことであっても、国内外の旅行者には魅力的に感じるもの・ことがたくさんあるのです。山梨の観光を盛り上げていくためには、地元がこうした地域の魅力や価値に気づき、知り、理解を深めることが重要とされています。そして、山梨を訪れた旅行者を温かく迎え、美しい景観、風土に根ざした特産物、歴史や文化について、地元のことで自信を持って伝えていくことが、「住んでよかった、訪れてよかった」と思える地域社会の実現につながると考えられています。

## 全国からみた山梨県

表-1は、平成25(2013)年の実宿泊者数(来県した観光客の数)です。日本人の数でみると、山梨県は561万7,100人で全国で23位、外国人の数でみると45万4,810人で全国で10位の位置にあることがわかります。また、同じ平成25(2013)年の山梨県における観光の目的別入込客数(地域を訪れた来訪客数)は、スポーツやレクリエーションが最も多く937万6,000人、次いで、歴史や文

表-1 平成25(2013)年の実宿泊者数(観光庁データを著者が編集)

順位	日本人		外国人	
	県名	人数	県名	人数
1	東京	35,911,810	東京	4,698,790
2	北海道	23,615,100	大阪	2,773,240
3	大阪	17,325,850	北海道	2,327,310
4	静岡	16,715,110	千葉	1,665,210
5	千葉	15,425,860	京都	1,406,670
6	長野	13,983,690	沖縄	853,050
7	京都	13,021,690	愛知	738,250
8	神奈川	12,988,170	神奈川	694,370
9	沖縄	12,263,700	福岡	644,840
10	愛知	10,954,450	山梨	454,810
：	：			
：	：			
23	山梨	5,617,100		

化が885万5,000人、自然が609万1,000人、温泉や健康が602万5,000人と報告されています(山梨県、2013)。単純に人数だけを比較することはできませんが、これらのデータから、日本人と外国人とでは、山梨県の地域の魅力や価値を違う視点でとらえていることが考えられます。そこで、研究所では、県内でも観光入込客数が最も多い富士・東部圏域を対象に、平成24(2012)年から、観光利用調査を行っています。

## 地域の魅力と価値とは？

図-1は、平成26(2014)年の観光利用調査で使用したアンケート調査票です。8月6、7、9、11、12日の5日間に道の駅(なるさわ、富士吉田)、鉄道駅(富士山駅、河口湖駅)、富士山五合目(広場、泉ヶ滝)を訪れた人を対象としました。アンケートを配布した場所によって、訪れた人の目的が若干変わってきま

すので、道の駅・鉄道駅と富士山五合目にわけて集計しました。図-2は、「富士山やその周辺地域の価値や魅力」を尋ねた結果です。道の駅・鉄道駅と富士山五合目の回答を合計して、多い順に上から並べて

図-1 平成26(2014)年の観光利用調査で使用したアンケート調査票の一部

図-2 「富士山やその周辺地域の価値や魅力」の単純集計

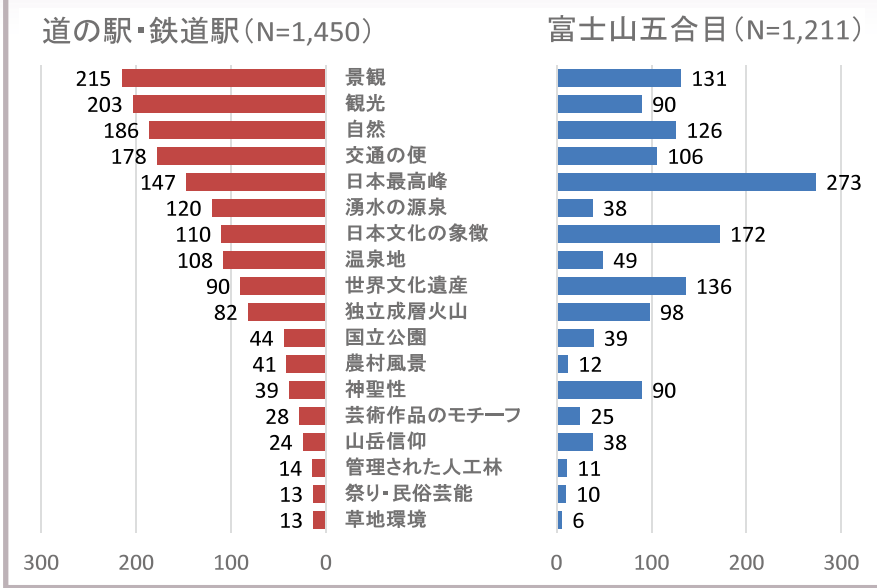
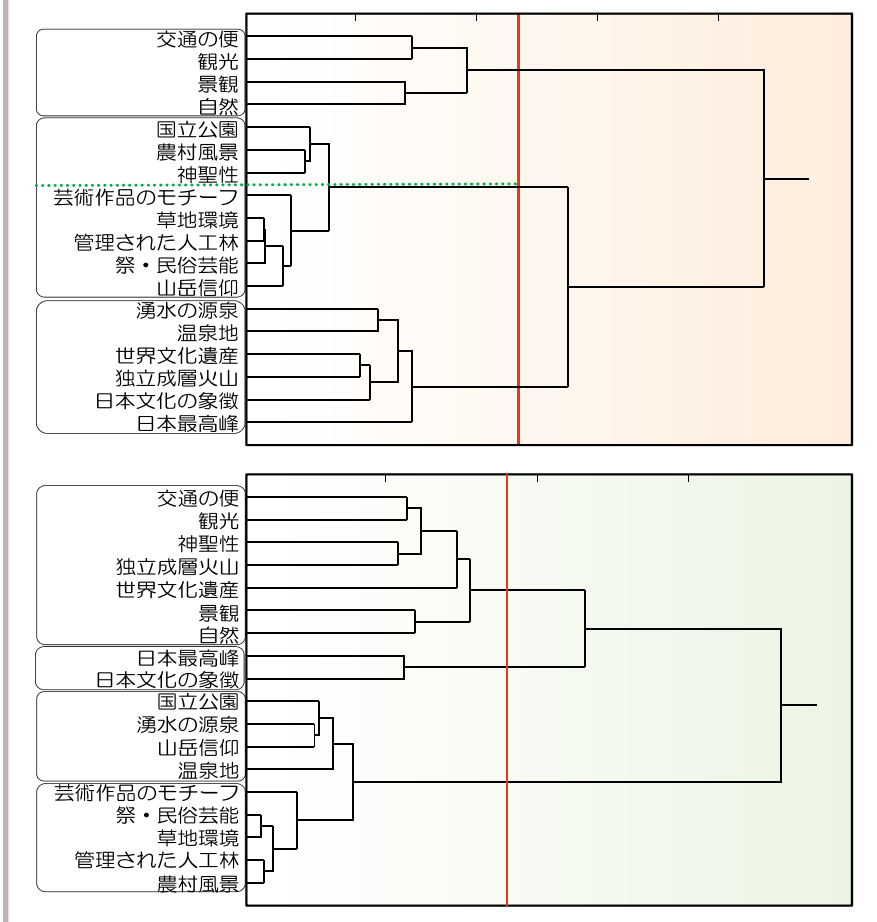


図-3 「富士山やその周辺地域の価値や魅力」のクラスター分析  
 (上:道の駅・鉄道駅、下:富士山五合目)



ことができ、1つは、国立公園や農村景観、神聖性といった「普段とは違う状態、環境」、もう1つは、芸術作品のモチーフや草地環境、管理された人工林といった「地域の生活とそれらに由来する文化」、第3クラスターは、湧水の源泉や温泉地、世界文化遺産、独立成層火山といった「富士山をイメージさせること・もの」にわかれしました。富士山五合目(図-3下)の第1クラスターは、交通の便や観光、神聖性や独立成層火山、世界文化遺産といった「誰もが登れる富士山をイメージさせること・もの」、第2クラスターは、景観や自然、日本最高峰、日本文化の象徴といった「特別感や美しさをイメージさせること・もの」、第3クラスターは、国立公園や湧水の源泉、山岳信仰、温泉地といった「精神的な拠り所をイメージさせること・もの」、第4クラスターは、芸術作品のモチーフや祭り・民俗芸能、草地環境、管理された人工林といった「地域の生活とそれらに由来する文化」にわかれしました。この調査から、道の駅・鉄道駅に訪れた人は、交通の便がよい観光地であり、自然や景観を楽しむことのできる場所、富士山五合目に訪れた人は、交通の便がよい観光地であり、神聖性を感じることのできる場所ということを経験していることがわかりました。

**観光を資源に**

ここで紹介した調査結果は、観光利用調査のほんの一部です。来年度以降は、これらの結果を深める調査を行ったり、過去の調査結果との比較・分析を行ったりします。そして、最終的には、富士山とその周辺地域の魅力や価値の保護と利用のための計画や体制づくり、活動プログラムにつなげていきたいと考えています。

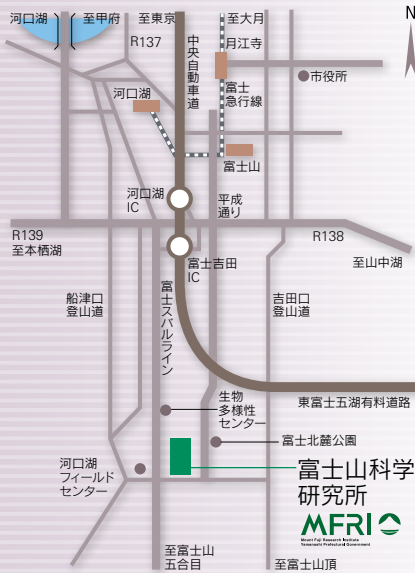
みたところ、道の駅・鉄道駅では、「景観」が最も多く、次いで「観光」、「自然」、「交通の便」の順になったのに対し、富士山五合目では、最も多かったのは「日本最高峰」で、以下は、「日本文化の象徴」、「世界文化遺産」と異なる結果となりました。

そこで、互いに性質の似たものを集めるクラスター分析を行いました。道の駅・鉄道駅(図-3上)の第1クラスターは、交通の便や観光、景観、自然といった「富士山とその周辺地域の旅行に重視すること・もの」、第2クラスターは、さらに2つに分ける





access map



- **アクセス**
  - 富士急行線河川湖駅より
  - 富士急行バス富士山五合目行き(季節運転)
  - 中央自動車道河川湖ICより5Km
- **開館時間** 午前9時～午後5時
- **休館日** 年末年始、館内点検日  
環境教育事業…  
【12月～3月】月曜日(祝日を除く)  
図書貸出等業務…  
【12月～3月】月曜日(祝日を除く)

山梨県富士山科学研究所

〒403-0005山梨県富士吉田市上吉田字剣丸尾5597-1

- **代表** 0555-72-6211
- **教育** 0555-72-6203(環境教育プログラム受付)
- **情報** 0555-72-6202(図書貸出等)
- **広報・交流** 0555-72-6206  
(出張講義・富士山相談総合窓口)
- **FAX** 0555-72-6204  
0555-72-6183(環境教育プログラム等申し込み)

URL <http://www.mfri.pref.yamanashi.jp/>  
E-mail [www-admin@mfri.pref.yamanashi.jp](mailto:www-admin@mfri.pref.yamanashi.jp)

※ニュースレターのバックナンバーはホームページでご覧になれます

発行・平成27年3月

平成27年度 イベント情報 環境教育・交流事業  
—環境教育プログラム—

環境教室事業

- 幼児から大人まで、基礎的な環境学習が体験できるプログラムです。(団体向け)
- **開催日**…毎日実施(休館日以外)
  - **時間**…午前9:30～12:00・午後1:00～3:30  
※1プログラム45分～50分程度  
幼児は約30分(実施時間は要相談)
  - **内容**…●自然体験学習 ●地域環境学習  
その他各種プログラムがあります。
  - **申込み**…事業実施日の6ヶ月前の月の1日より受付

富士山学習支援事業

- 富士山のそれぞれの様子を紹介するプログラムを提供しています。(小中学校向け)
- **対象**…県内の小中学生
  - **時間**…午前9:30～12:00・午後1:00～3:30  
※1プログラム45分～50分程度
  - **申込み**…事業実施日の3ヶ月前の月の1日より受付

出張講義

- 研究者や教育スタッフが出張講義を行います(無料)。研究所のホームページに講義テーマ一覧があります(応相談)。(団体向け)
- <http://www.mfri.pref.yamanashi.jp/>

公開講座事業

- ◆ **富士山科学講座**
- **実施日**…5月23日(土) 13:15～16:30
- **内容**…世界遺産に登録された富士山の価値を知ると共に、その保全のあり方について、資料を基に参加者と共に考えるシンポジウムです。

- ◆ **富士山研まつり**
- **実施日**…8月2日(日)
- **内容**…日頃の研究成果などをわかりやすく展示します。また、研究棟を一般公開します。

※他にも、国際シンポジウムや富士山自然ガイド・スキルアップセミナー等の開催を予定しています。

地域環境観察事業

自然環境と人との関わりを新たな視点から捉える観察会です。

- ◆ **春の自然と山野草観察会**…  
■ 5月17日(日) 9:00～12:00
- ◆ **初夏の自然と野鳥観察会**…  
■ 5月24日(日) 8:00～11:30
- ◆ **富士山五合目植物観察会**…  
■ 7月25日(土)・7月30日(木) 9:00～16:00
- ◆ **富士山火山観察会**…  
■ 8月29日(土)・9月3日(木) 8:30～16:40
- ◆ **秋の富士山麓自然観察会**…  
■ 10月17日(土) 9:00～11:30  
※県内の小学4年生以上(中学生以下のみでの参加は不可)  
※申込みは1ヶ月前から



自然体験事業

- ◆ **もりのおはなしかい～えほんのよみかかせ～**  
絵本の読み聞かせや森の観察などをとおして自然とふれあいながら興味や関心を伸ばします。
- **実施日**…毎月1回(日曜日実施)  
4/12・5/10・6/21・  
7/12・8/16・9/20・10/25・11/15・12/6・  
1/17・2/7・3/6
- **時間**…午前10:30～、午後2:00～ 各約40分
- **対象**…幼児～小学校低学年  
※おはなしかいの前におりがみ教室も行います。



- ◆ **親子森を楽しむ会**  
・7月18日(土) 9:00～12:00  
・県内の小学生 ※申込みは1ヶ月前から

- ◆ **森のガイドウォーク**  
研究所敷地内の森の中を歩きながら、溶岩の上のできた森の成り立ちや動植物の特徴などを観察します。スタッフが解説します。



- **期間**…春期:4/25～30 5/1～6  
夏期:7/18～31 8/1～23,29,30  
秋期:9/5,6,12,13,19～23
- **時間**…①10:00～ ②11:00～ ③13:00～  
④14:00～ ⑤15:00～(各回約50分)

人材育成事業

- ◆ **富士山科学カレッジ**
- **対象**…県内の高校生以上(定員40名程度)
- **内容**…環境に関して興味や関心を高めるために全8講座を受講します。
- **申込期間**…3/1(日)～4/8(水)



- ◆ **富士山科学カレッジ大学院**
- **対象**…カレッジ修了者
- **内容**…富士山やその周辺の自然環境について、研究員などの専門的な講義を受講し、富士山の環境保全のあり方について受講します。全12講座を受講。

- ◆ **自然解説員育成研修**
- **対象**…カレッジ大学院修了者
- **内容**…自然解説プログラムを作成し、インタープリテーションの実践について受講します。全9講座を受講。

企画展示

「自然と人との共生」をテーマに、富士山に生息する多様な植物や動物、火山としての富士山の様子を写真やパネルなどで紹介します。

- I 企画展～春から初夏～ 4/4(土)～6/24(水)
- II 企画展～夏から秋～ 7/11(土)～11/8(日)
- III 企画展～秋から冬～ 11/28(土)～2/23(火)
- IV ある日の風景写真展 2/27(土)～3/21(月)

- 各イベント・事業は、見学地入場料等を除き無料です。
- 日時内容などを予告なく変更することがあります。
- 休館日以外は、学習室、エントランス展示、環境情報センター、企画展示等無料でご利用いただけます。

◆ 施設提供(要予約)

下記施設の貸出を行っています。

- ホール(約150名)
- 第1会議室(24名)
- 第2・3会議室(約50名)
- 研修室(80名)他

◆ 環境情報センター資料貸出

環境関係の図書、視聴覚資料が約2万点。

- 個人…図書:2週間 視聴覚:1週間
- 団体…1ヶ月間  
(富士山学習セットの図書貸出も行っていきます)  
※図書等の貸出は県内在住・在勤・在学の方に限ります。

スタッフボイス **ミニ** staffvoicemini

山梨県は昨年大雪に見舞われ、たいへんな思いをしました。が、早いものでもうあれから1年になりました。富士山科学研究所も改編から1年を経過することになりました。このニュースレターをとおして、1年間、研究の成果や公開講座などの情報を発信してきましたが、いかがだったでしょうか。また今年

度の反省を踏まえて、次の号に取り組んでいこうと思います。富士山麓の地ではまだ寒い日が続いていますが、最近では晴れた日の青空がまぶしく、遅い春がようやく近づいてきたように感じます。(Y.H)